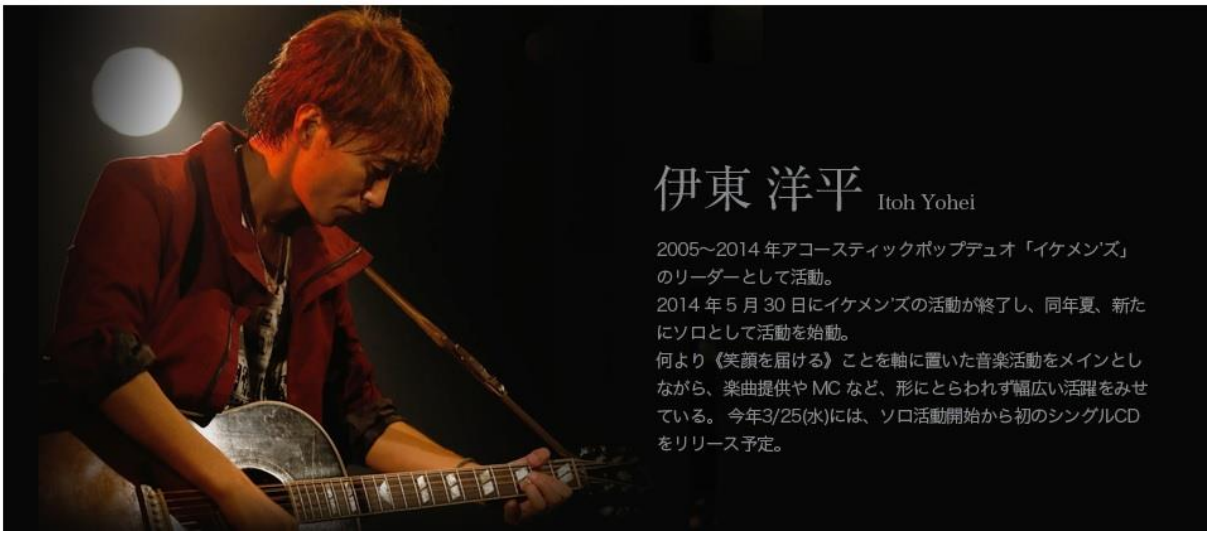
伊東 洋平（いとう ようへい）プロフィール



公式ホームページより

宮城県仙台市を拠点に活動するミュージシャン。元「イケメン’ズ」メンバー。

2014 年８月ソロでの活動をスタート。2021 年 12 月 25 日には、目指してきた仙台サンプラザホールでのワンマンライブを実現。チケットは完売。

2022 年からは「伊東洋平第二章」としてスタートを遂げ活動中。コロナ禍の中にあっても、オンラインライブ配信、各地でのイベントへの参加など、意欲的に音楽活動を展開してきた。TBC ラジオで、レギュラーラジオ番組「ボクラノウタ」に出演中（毎週日曜日 11:00～11:30）。

【主な楽曲等の紹介】

主なシングル曲は以下のとおり。

「扉へのヒカリ」（2015 年３月）

「HERO」（2016 年４月）

「TSUBASA」（2018 年６月）

「キセキのカケラ/Every single day」（2019 年４月）

「Refrain!」（2023 年１月）　　その他多数。

Official YouTube Channel より

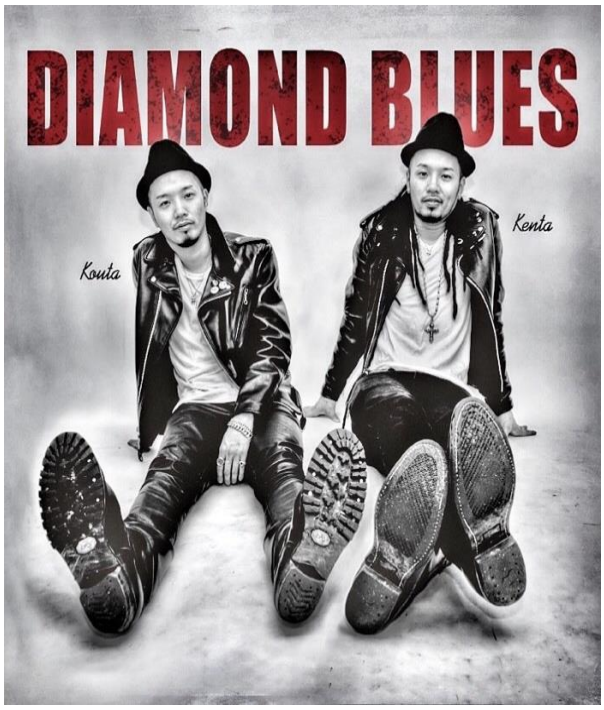
それらの多くは、山一地所、トヨタ、東北電気保安協会などの CM ソングとして使用され、主に宮城県内のメディアで流れている。

また、アルバムもリリースしてきた。「One for All」（2017 年２月）、「Hereditary」（2020 年 11 月）、「Door」（2021 年 12 月）。

配信限定として、2022 年９月７日に「君へ逢いにいく」をリリース。只見線全線再開通記念ショートムービー「あいせき列車 只見線 ～小出で恋して 会津を愛して～」の主題歌となる。作詞 伊東洋平・坂内譲／作曲 小林俊太郎。

けんたこうた

双子デュオ 健太康太



健太康太　家　検索

プロフィール

PROFILE

1983 年－双子として誕生 健太(兄)康太(弟）
2009 年－波乱万丈を乗り越えて夢を叶える事を開始
27才「音楽」をはじめる
2010 年－Ｒ＆Ｂオーディションにて優勝
2011 年－脱サラしてニューヨーク武者修行
「ライブをするまで日本に帰らない」と決意
ニューヨーク地下鉄のホームでアカペラを歌い続ける
滞在資金が底をつく時 足を止めてくれたのが
有名ライブハウスのオーナーであり2日後にライブに出演
帰国した日が2011年3月11日東日本大震災の起きた日…
学用品を東北の学校へと届けるボランティア活動に参加
その時訪れた宮城県気仙沼市の小学校校長先生から
「子ども達に歌を聴かせて欲しい」と初めて学校でライブを行う
2012年－都内を中心にライブ活動・福島県でスクールコンサートを開始
2013年－全国デビュー（タワーレコード・HMV など）
1st アルバム『DAIAMOND BLUES』発売
2015年－勝手に全国ツアーを開始
白いワンボックスカーを購入
スプレー缶で自ら黒の塗装を施し車内を改造する
音響機材を積み込み車中泊生活をしながら すべて下道移動
全国のイベントやライブハウスなどで年間約１００公演
2016年－ＴＶ出演 「家、ついて行ってイイですか？」
放送後アルバムランキング1位
ＬＩＮＥニュースなどメディア各種に取り上げられる
白河市民会館大ホールコンサートを開催
2017年－白河文化交流館コミネス大ホールコンサートを開催
2ndシングル絵本『parasoul』発売
2018年－白河文化交流館コミネス大ホールコンサートを開催
スクールコンサートの年間依頼数が2倍になる
8年間の活動で訪れた学校が累計１００校をこえる
2019年－白河文化交流館コミネス大ホールコンサートを開催
現在も日本各地を旅しながら多くの人々に
『音楽』と『想い』を届けるため『ダイアモンドブルース号』
に乗って今もどこかを走り続ている

スクールコンサートへの想い

東日本大震災後
今やるべきことはなにか？
自分たちに出来ることはないか？
音楽を通じて
子どもたちに想いを伝えたい、夢を見つけて欲しい
そう考えて始めたことが
今では自分たちの夢の一部
「生き甲斐となりました」
絶対の責任感があり言葉や歌での説得力を
毎回問われる.....
そしてライブが進んで行くにつれて
子どもたちの姿勢が変わり
先生方の眼差しが変わっていくのがとても嬉しい
それが何より
「今、音楽を通して生きている」
と強く感じる事ができる
スクールコンサートは健太康太の音楽人生にとって
必要不可欠なライブとなっています